

















































































「目」 出 行

一、めったにめったのたのたの
 若松様ヤレ
 枝も突えて
 葉も繁るヨー
 ※ゴントシヤレ ※ゴントシヤレ
 杯（さかすき）やお酒ヤレ

二、主の御（今かた）は
 めったに密ヤレ
 鶴が御門（ごもんど）に
 風を拂げるヨー
 ※くりかえし

三、開した 葉（さかすき）
 中ひて 返えしやんせ
 中は鶴葉
 三葉の松ヤー
 ※くりかえし

四、咲いた 桜の
 下で杯（さかすき）はせば
 酒の上に
 ※ちるヨー
 ※くりかえし

五、お酒百まで
 わしや九十九までヤレ
 ともに自製の
 はえるまでヨー
 ※くりかえし

「赤きよりそす」

太妃じのかかは
 どればそうじやいの
 あのかの次の赤きよりそす
 赤きよりそす
 さいよりな
 さいよりな

「おはこ」

おはこ いくつになる
 この年 あければ
 お十七文ー
 あちややれ こちややれ
 なんのこたない
 ばたツン カカツンエー

「しつちやえ こつちやえ」

しつちやえ こつちやえ
 しつちやえの二層でケンをうり
 勝たねは お女知の
 買いおさめ
 しつちやえ こつちやえ

「富山県民の歌」

一、初ぎ見る 立山連峰
 船空に 舞くこころ
 羅漢の 魂をかざして
 美らかに 生麗の歌
 声そろえ 声そろえ
 共にうたわん 共にうたわん
 ああ われら
 われら富山 富山県民













